

インフォマティクス委員会報告

TABUCHI Ken
田渕 健

東京都がん登録室
日本がん登録協議会 監事



猿木 信裕
群馬県衛生環境研究所

松坂 方士
弘前大学医学部附属病院

森島 敏隆
大阪国際がんセンター

阪口 昌彦
大阪電気通信大学

NL52号における委員会報告でもご紹介致しましたように、本委員会は2020年度に発足した新しい委員会です。がん登録において『インフォマティクス』と言う表現は、がん登録そのものを表現していると言っても過言ではありませんが、当協議会理事でおられた故三上春夫先生の思いを引き継いで、当委員会は特に技術的な側面からのアプローチを検討していきたいと考えております。

がん登録推進法が施行に伴い、当協議会の任務の重心はがん登録体制の整備からがん情報の発信に移動しており、システムが担うべき情報は日々増大しており、質的充実も期待されていますが、当協議会における情報システムは、地域がん登録協議会時代のみで稼働が続けられており、最近ではシステム処理能力の低下により、会員間の情報交換にも支障が始めていると存じます。

このような状況を鑑みて、当協議会におけるクラウドサーバの契約の見直しを図り、サーバ容量の増強やホームページの刷新に関して技術的な検討を行い、理事会に諮りました。メールアドレスの変更等会員の皆様にはご不便をおかけすることがあるかと存じますが、よろしくお願いいたします。

システムは最適な規模に拡大し、システムのサポート体制も整備しつつ、費用は軽減するなど、システムの効率的な運用にも配慮しております。特に、クラウドサーバ管理の外注化することでセキュリティの向上と効率化を進めます。昨今のシステム開発のトレンドと同様、アジャイル開発の考え方を採用し、順次更新を進めていきたいと考えております。

本NLは前号からデザインの委託先を変更していますが、今後、広報委員会、J-CIP委員会その他関係する委員会やメンバーと協議しながらホームページの刷新を図り、NLを含めて機動的な情報発信が行えるよう機能の更新を進めていきたいと考えております。更に、今後会員や利用者からの要望に応じて、双方向型情報交換等の機能充実も図りたいと考えております。

基盤整備委員会報告

SARUKI Nobuhiro
猿木 信裕

群馬県衛生環境研究所
日本がん登録協議会理事長



西野善一
金沢医科大学

伊藤ゆり
大阪医科薬科大学

大木いずみ
埼玉県立大学

片山佳代子
群馬大学

田渕健
東京都立駒込病院

阪口昌彦
大阪電気通信大学

基盤整備委員会では、財政基盤の安定化によるJACR活動の推進のため、団体正会員（病院）、個人正会員、賛助会員（団体、個人）、の増加を目指していますが、COVID-19の感染拡大のため、現在十分な活動ができていません。会費値上げの議論もありますが、まずは経費削減等、自分たちでできる限りの努力をしていきたいと思っております。

今年度は広報委員会、インフォマティクス委員会と連携して、News Letterのデザイン変更やメールサーバーの機能強化等に取り組んでいます。スパムメールの増加により、事務局機能に与える影響が無視できなくなり、現在ドメイン名の変更を含め、メールサーバーの機能強化の準備をしています。準備が整いましたら会員の皆様にお知らせしますので、もう少しお待ちください。

JACRではこれまで、研修会やシンポジウム等を開催し、News Letterでその概要を報告してきました。近年は全国がん患者団体連合会との共同プロジェクトJ-CIPの一環であるJ-CIP Empower活動により、演者の皆様のご協力を得ながら、貴重なご講演の動画をホームページで提供しています。これからは地域や各施設におけるがん登録データの情報発信が益々重要になってくると思いますので、今後も動画配信コンテンツの強化やデータ解析支援等、都道府県がん登録室や拠点病院等のがん登録実務者の業務や研究の支援を行い、都道府県がん診療連携協議会の皆様や拠点病院管理者の皆様の理解を得ることにより、団体正会員（病院）や賛助会員の増加に繋げていきたいと思っております。

現在、COVID-19のBA.2やBA.5由来のオミクロン変異株の増加が見られています。第8波が落ち着いたら、団体賛助会員の増加に向けた企業訪問等の活動も行っていきたいと思っておりますので、ご支援よろしくお願いいたします。